

特別養護老人ホーム晃風園ぬくもり

運営推進会議 会議録

■ 日 時：令和5年9月27日（水）14：25～15：10

■ 場 所：晃風園ぬくもり1階地域交流室

■ 出欠の状況：運営推進会議構成員（5名出席）

深見大和地区社会福祉協議会顧問

深見大和地区民生委員児童委員協議会委員

島津自治会長

あゆみの会会員

深見大和地域包括支援センター職員

施設職員（2名）

三 河 幸 司（管理者）

田 邊 利 保（書記）

■ 運営推進会議の概要

1 会議の開会

- ・定刻35分前に
- ・三河管理者が議長となり会議を進行

2 議 題

（1）施設の近況報告

○三河管理者が報告

- ・稼働率は7月長期入所90.1%、短期入所90.6%、8月が長期入所87.2%、短期入所98.4%となっており、昨年度より少し落ちている。
- ・今現在、長期入所予定の方1名が手続き上の都合で、しばらくの間を短期入所としてご利用されているため長期入所の利用実績が少し下がり、その分、短期入所が上がって来ている。
- ・なるべく空床が無いように、長期入所で空いたところに短期入所を入れていくこともあり8月は短期入所が上がっている。
- ・上半期が今月で終わるが、現在まで長期の方が少し空いている状況である。下半期はベッドが埋まった状態で運営していくことを目標としている。
- ・外出・外泊状況だが、今回の7月・8月に関しては2名であった。外泊はなかった。
- ・利用者の状況だが、8月末の段階で長期入所の方が29床中26名。入院が4名で、6月24日から来られた方が誤嚥性肺炎で入院し状態が安定しないため9月20日で退所している。7月1日から19日まで入院の方は誤嚥性肺炎で

あったが施設に戻って来られている。7月1日から6日の方は尿路感染症です。
8月10日から入院した方は継続して入院しその後退所された。

- ・この期間の退所は一人で入所はなし。9月に入ってから一人入所している。
- ・今日の時点で長期入所27名、来月初めに入所の方向で調整を進めているので、次回報告できると思う。

(質問・意見等)

な し

(2) 行事の報告及び予定

○三河管理者が7月から9月までに実施した行事、出来事と今後の予定について報告

- ・7月27日、ぬくもり喫茶と七夕会を合わせて行った。皆で歌を歌ったりして喫茶を楽しんだ。
- ・8月10日迎え火、この日に花火を外で楽しんだ。8月16日が送り火。
- ・8月24日がぬくもり喫茶
- ・9月1日“グラリ3分”一斉行動訓練、前回と同様、大和市の防災ラジオの放送を全館放送して全てのご利用者に案内をした。
- ・9月4日から15日まで東海大学看護学科の4年生2名が実習に来られた。
- ・9月8日がワークステーション菜の花の販売会。菜の花さんが作られたマフィン、手作り品を販売した。今回が2回目で2ヶ月に一回の開催を考えている。慣れて来たら地域の人達にも来ていただけるようなイベントにして行きたい。この日は台風のため、マフィンも十分用意出来ないとのことで小規模で行った。継続して行っていきたい。
- ・9月17日、島津の秋祭り。4年ぶりで大人の神輿が出せなかったとのことだが、子供神輿がすごく立派で見応えはあった。ご利用者にも少し見ていただき楽しんでいただいた。引き続きこういった地域の活動にも協力していきたい。
- ・9月19日が美容室、今回29名の方が散髪を行った。
- ・今後の予定だが、晃風園全事業所の今年度前半の取り組みを職員が発表するワンランクアップ取り組み発表会を10月20日に行う。ぬくもりも取り組んできたことを発表し、施設内で共有する。
また、大和市施設取組発表会が別があり、大和市内の特養13施設がシリウスのサブホールを使って発表する。この発表会も毎年行って来たが、取り組み発表自体は2施設で、他の施設は動画で施設を紹介することになり、ぬくもりも3分間の施設紹介ビデオを今制作中である。次回の運営推進会議で委員さんにも観ていただきたいと思っている。
- ・自然災害対策訓練・夜間想定避難誘導訓練を10月に予定している。

(質問・意見等)

な し

(3) 新型コロナウイルスに関する対応

○三河管理者が説明

ご利用者の感染者がこの期間に2名あった。また職員の感染も2名であった。短期入所のご利用者一人が感染した状態で入所され、その夜に熱が上がりコロナ感染が判明した。5類になってから施設内で抗原検査は行っていないので、病院受診で分かった。熱があるとか風邪症状がある時は個室で過ごしていただき、他のご利用者となるべく接触しないようにして、職員もご利用者が熱が出た瞬間にN95マスクを着用しているが、そこから他のご利用者に1人感染し、職員にもその方から感染し、4日おきぐらいに続いた。新型コロナウイルスのオミクロン株の特性として3日から4日ぐらいで発症と聞いているが、まさにそのタイミングで次々と発症していった。夏の時期、コロナ感染拡大の情報が出てきているが、本部特養は昨年40名以上の感染者が出る大規模なクラスターが起きて、今年も夏にご利用者と職員合わせて7名感染した。本部特養は多床室で4名一組の部屋なので1人感染すると近くにいる方にうつりやすくその辺が個室のぬくもりと違って感染拡大しやすい。インフルエンザも夏場なのに拡がっていると聞いている。学校でも学級閉鎖が出て街の様子も皆さんマスクをとって生活しており、いろいろ心配な事が続いている。面会は予約での受付を継続している。もう少し自由にしたいが、感染を心配する方に合わせて、なるべく顔を会わせない形ですすすめている。ボランティアは下半期から受入れを検討しているが、今の状況では簡単には行かないと様子を見ているところである。晃風園ではグループホームやデイサービスで少し始めている。

(質問・意見等)

市内施設の新型コロナウイルス感染状況、感染対策や施設におけるボランティア受け入れの判断、ボランティア再開の状況について質問あり。

(4) その他

(会議全体を通しての質問・意見等)

委員から退所者の行先、施設内の草取り、傾聴ボランティアの活動内容などについて質問あり。

また、地域のお祭りの再開により、ぬくもりとの交流の場になるのは良い事であるとの意見が出された。

3 閉 会

次回会議の日程確認と出席をお願いして閉会。